



第三中学校だより

校訓

○健康な体

○豊かな心

○たゆまぬ学習

学校教育目標

自主 自律 未来をひらく三中生

～自ら考え、自らの意思で、未来をたくましく生き抜く生徒～

和光市立第三中学校
Tel 048-461-3306
相談室 TEL 461-6698

〒351-0104 埼玉県和光市南2-2-1
ホームページ <http://3chu.wako-city.ed.jp/>

令和3年12月3日発行

「プロセスに学ぶ」

校長 石川 毅

正門から続く銀杏並木は、10月中旬から銀杏を落とし始め、11月の中頃からは黄色く色づいた葉を散らしています。黄葉は朝の気温が8度前後を下回ったり、昼の時間が短くなると色づき、葉にある養分を幹にため込んで散っていくのだそうです。木々もすっかり冬支度をし始める季節を迎えました。



学校では、第3回定期テストを11月18・19日に終えて、2学期のまとめの時期になっています。先週は、放送による生徒朝会を3日間にわたって行いました。各専門委員会の委員長の挨拶やそれぞれの学年の学年委員会の抱負など、これまで3年生を中心に行ってきた生徒の自治的な活動が2年生に移行して新たなスタートを切ることとなります。どの委員会の委員長も三中をより良くしたいとの思いのこもった内容で、「こうしたい。」という思いだけでなく、「だから、生徒の皆さんにはこんな協力をしてほしい。」という依頼も含まれ、とても頼もしく感じました。委員会活動は、異年齢の生徒同士で協力して、学校生活の充実と向上を図るための課題を解決していく活動です。課題を解決する力は、各教科の中でも学習しています。学校での授業そのものが知識注入型から課題解決型へと様変わりし、基礎的・基本的な知識・技能を身に着けたうえで、その力を活用していくプロセスを体験的に学ぶ活動が多く取り入れられています。しかし、中学生くらいの年齢ですと、課題発見・解決へのプロセスに時間をかけるよりも「正解」(答え)を知りたがる傾向は決して少なくありません。本校でも、そうした傾向は少なからず見られますが、予測困難なこれからの時代には、課題発見・解決へのプロセスを自力で、あるいは仲間と協働して進めていく力が必要になります。各専門委員会や学年委員会の「こんな学校生活にしたい。こんな取り組みをしたい。」という思いが、実際の学校生活の充実・向上につながるプロセスを考え、活動していったほしいと願っています。

話は変わりますが、本日12月3日(金)は合唱発表会でした。第3回定期テストを終えてから、音楽の授業だけでなく以下にある各学年のスローガンのもと放課後の時間を使って実行委員を中心に学級での練習も行ってきました。今日の合唱の満足度も気になるころですが、合唱発表までのプロセスからも多くのことを学んでくれたのではないかと思います。

3学年スローガン 「一声入魂 ～心に響けハーモニー～」

2学年スローガン 「聲(こえ)～響かせよう歌声～」

1学年スローガン 「百花繚乱 ～全ての声を一つに1人1人の想いを奏でよう～」